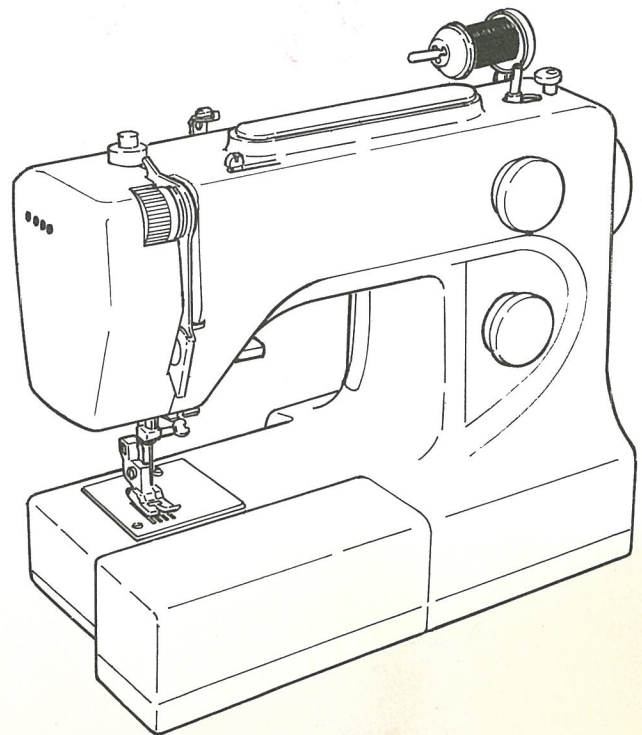


JUKI

Coudre
Compact Sewingmachine

クードル
HZL-20

取扱説明書



お買い上げいただきまして まことにありがとうございます。

このミシンは 直線ぬいを初めとして

ホームソーイングに適した数々の模様ぬいが内蔵されています。

正しくミシンをご使用していただくために どうぞ この「取扱説明書」をよくお読みいただき

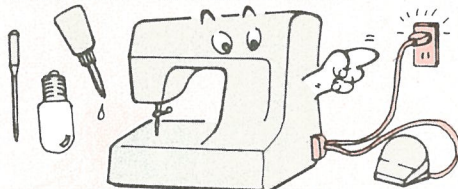
ホームソーイングのパートナーとして 末長く ご愛用ください。

正しくご使用していただくために
下記及び△マーク部分のことは必ずお守り
ください。

お子様の手の届くところに置かないでください。

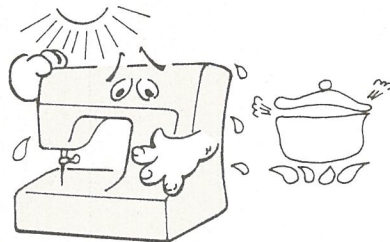


針のとりかえ、ランプの交換、注油などのときは
必ず電源を切ってから行ってください。

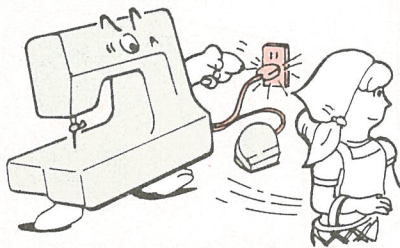


○特にカバー類をはずす場合はコンセントから
プラグをぬいてください。

直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には
置かないでください。



ご使用にならないときは コンセントから
プラグをぬいてください。



シンナーなどの溶剤で ふかないでください。



●やわらかい布に
中性洗剤を少量つけて、
よくふきとってください。

ミシン油以外の油は使わないでください。



△注意

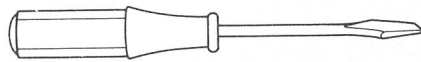
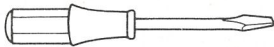
コントローラーをご使用の際には以下の点にご注意
ください。

- ①コントローラープラグ・電源プラグをセットする
ときはコントローラーを押した状態にしないで
ください。(ON状態にしないでください)
プラグをセットした瞬間よりミシンが回転し
始めますので危険です。
- ②ご使用時以外はコントローラーの上にも
ものを乗せないで下さい。
異常過熱や故障の原因になります。

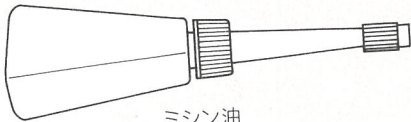
も く じ

付属品	2	ジグザグぬい.....	10
各部の名まえ	3	ボタン穴かがりぬい.....	10
主なはたらき	4	裁ち目かがりぬい.....	11
下糸の準備	5	ファスナーつけ.....	11
下糸巻きの糸のかけ方		伸縮強化ぬい	12
ボビンをボビンケースに入れるには		まつりぬい	12
上糸のかけ方	6	突き合わせぬい	12
下糸の引きあげ方		ミシンの手入れ(掃除・注油)	13
押えのとりかえ方.....	7	ランプの交換	13
針について	7	ぬい方と操作方法の一覧	14
針の交換、針の選び方、調べ方		サービスをお申しつけになる前に	裏表紙
押えと各模様の関係	7		
糸調子の合わせ方	8		
上糸の調節、下糸の調整			
布地・ミシン糸・ミシン針の関係と合わせ方.....	8		
直線ぬい	9		
返しぬい(ほつれ止め)			

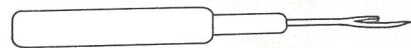
■ 付属品



ドライバー(小・大)



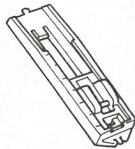
ミシン油



リッパー(糸ほどこ)



基本押え
(最初ミシン本体にとりつけてあります)



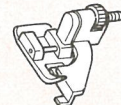
ボタン穴かがり押え



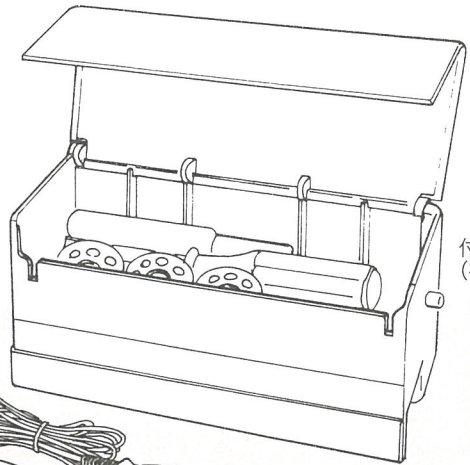
裁ち目かがり押え



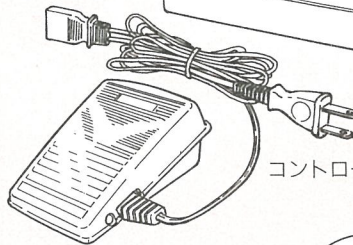
ファスナー押え



ブラインドステッチ押え



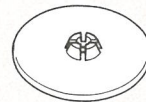
付属品箱
(補助ベッド)



コントローラー



ボビン(3ヶ)

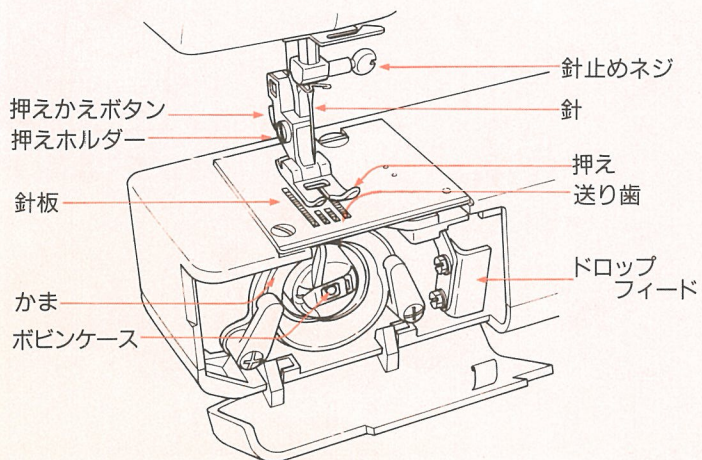
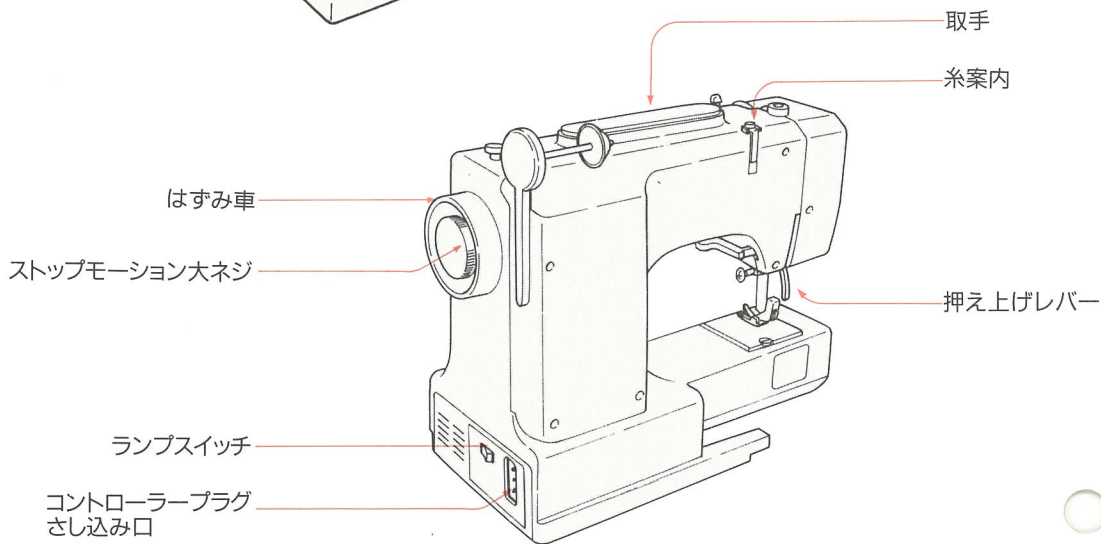
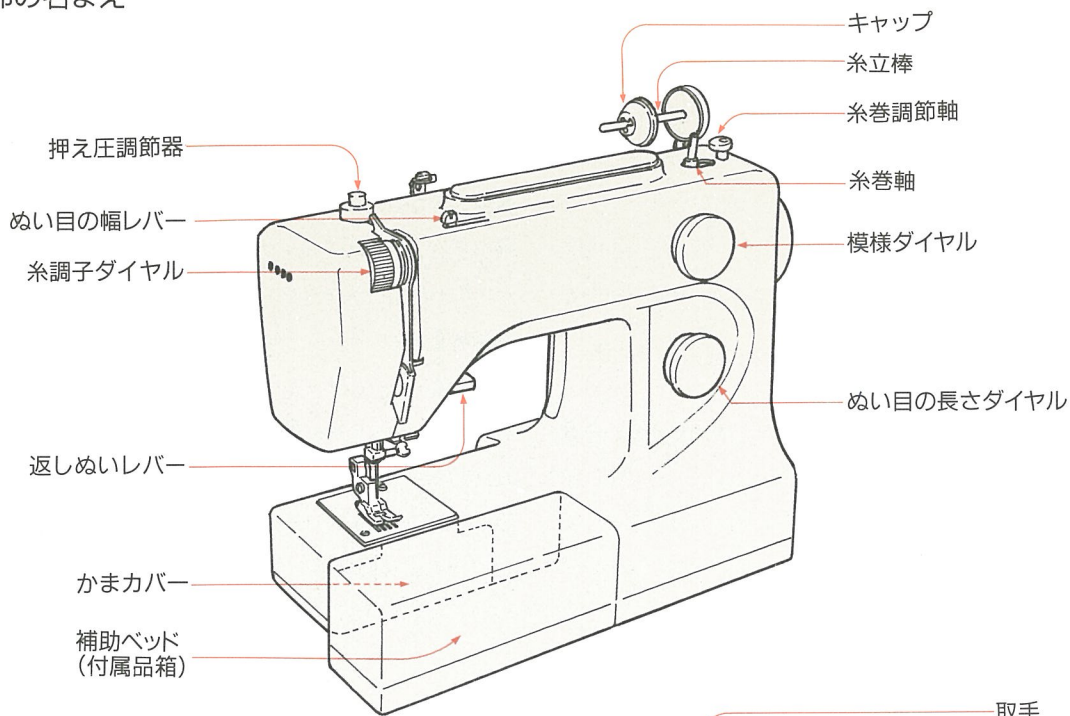


キャップ(大)

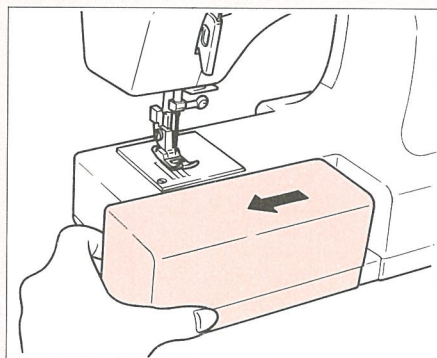


針 (HAX1 11番 2本
14番 1本)

■各部の名まえ



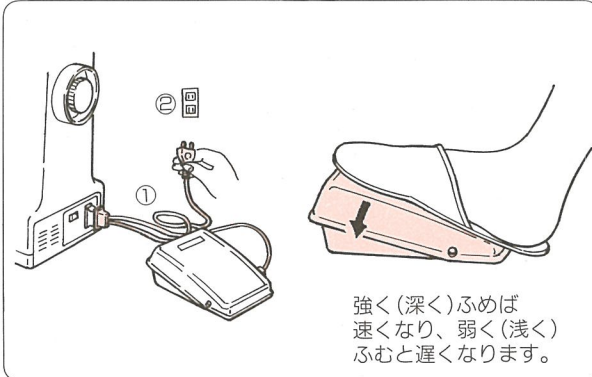
フリーアーム



補助ベッドを左へ引きますとフリーアームになります。

■主な はたらき

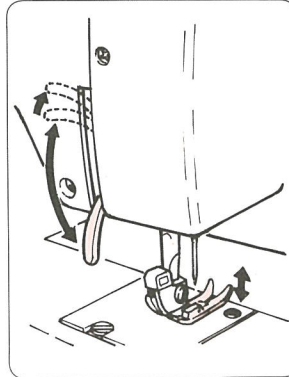
コントローラー



強く(深く)ふめば
速くなり、弱く(浅く)
ふむと遅くなります。

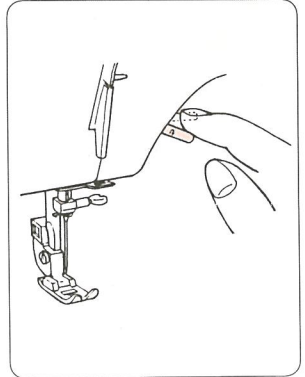
コントローラーのプラグをミシンのプラグさし込み口にさし込み、一方のプラグを室内コンセントにさし込みますとコントローラーが使えます。

押え上げレバー



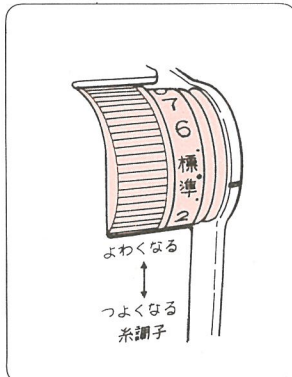
上にあげると押えがあがります。下へさげると押えはさがります。押えの交換や厚布をさし込むときは一番上まであげます。

返しぬいレバー



ぬい始め、ぬい終わりにレバーを押すと返しぬいができます。

糸調子ダイヤル



上に回すと糸調子が弱くなり、下に回すと強くなります。

模様ダイヤル



模様ダイヤルを回し、指標に模様番号を合わせますと、その模様が選ばれます。

ぬい目の長さダイヤル



ぬい目の長さを調節します。数字が大きくなるとぬい目が長く(荒く)なります。2~2.5が標準です。

ぬい目の幅レバー



模様の幅は0~5mmまで選べます。

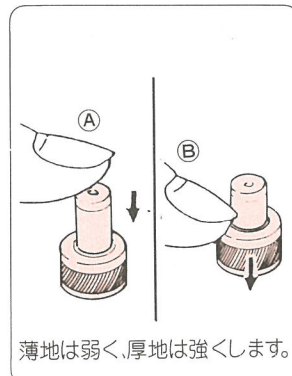
ジグザグ模様やボタン穴かがり
のとき、ぬわれる模様の幅を選
びます。

ストップモーション大ネジ



ボビンに糸を巻くとき、ストップモーション大ネジをゆるめます。(針が上下しなくなります。)

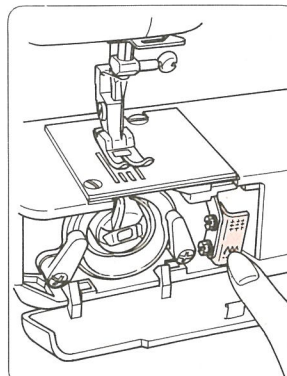
押え圧調節器



薄地は弱く、厚地は強くします。

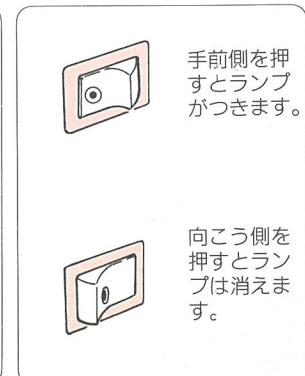
布地の種類や厚さによって押えの圧力を調節します。A部を押すと強くなり、B部(外輪)を押すと押え圧力が解除されます。

ドロップ フィード



上(↑)を押すと送り歯がさがり布を送りません(ししゅうぬい)のときだけ使います。通常は下(↓↓)を押して布を送るようにします。

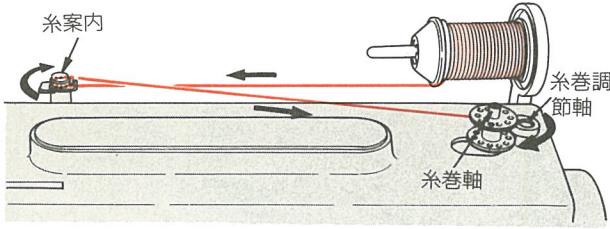
ランプスイッチ



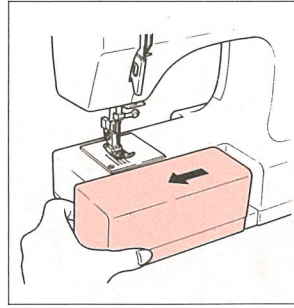
手前側を押すとランプがつきます。

向こう側を押すとランプは消えます。

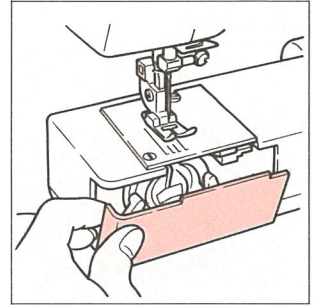
■下糸の準備 下糸巻きの糸のかけ方



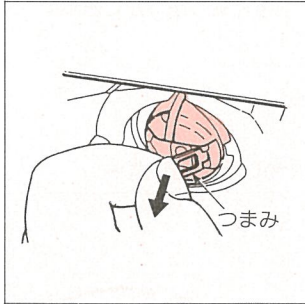
1 フリーアームにします



2 かまカバーを開けます

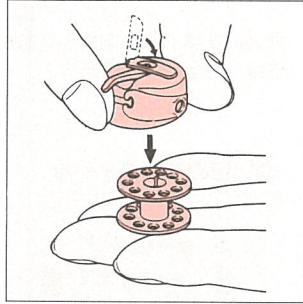


3 ボビンケースをとり出します



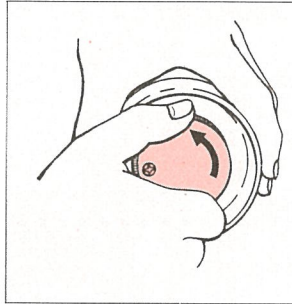
①針が上っていることを確認します。
②つまみを開いてとり出します。

4 ボビンをとり出します



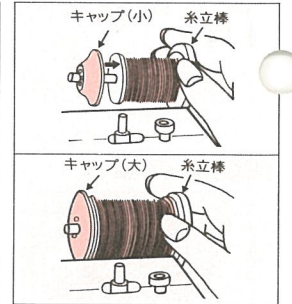
つまみを閉じてボビンを取り出します。

5 ストップモーション
大ネジをゆるめます



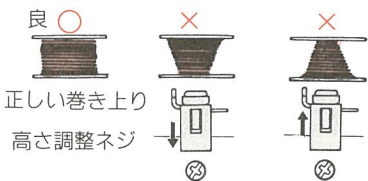
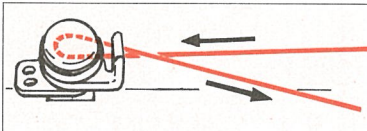
針が上下しなくなります。

6 糸ゴマをセットします



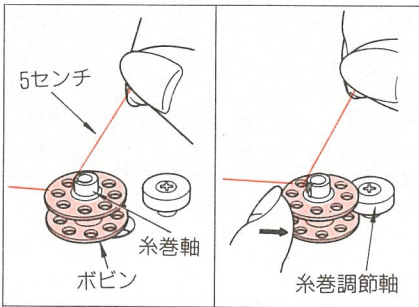
糸ゴマの外周に応じてキャップの(大)(小)を選んでとりつけます。

7 糸案内にかけます



片巻きにならないように糸案内の高さを調整します。

8 ボビンを糸巻軸にセットします

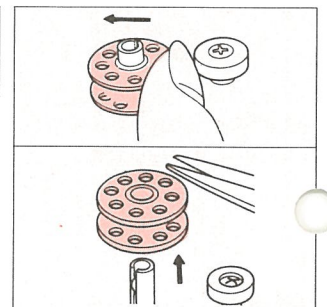


ボビンを糸巻調節軸へ押しつけます。

9

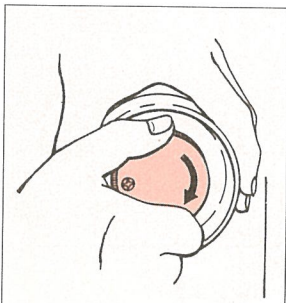
スタートさせます
コントローラーで

10 ボビンを左側へもどします



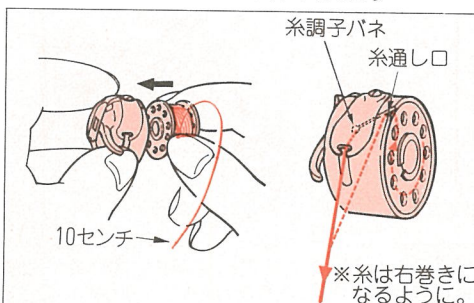
余分な糸を切りボビンを取り出します。

ストップモーション
11 大ネジをしめます



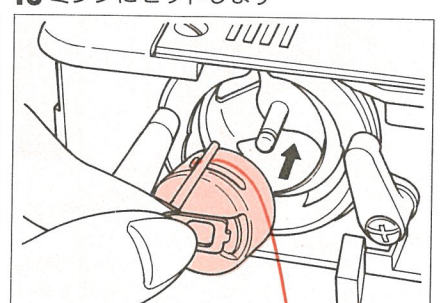
しっかりとしめてください。

12 ボビンをボビンケースに入れます



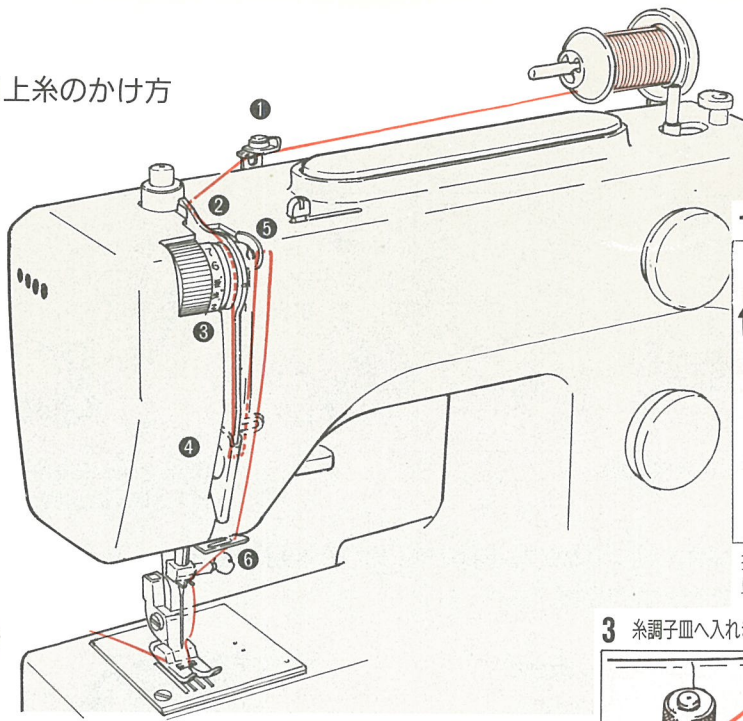
糸通し口から糸を通します。

13 ミシンにセットします

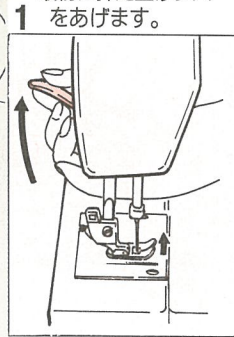


- ①つまみをいっぱい開いてかまにさし込みます。
- ②ボビンケースのつまみをキチンと閉じます。
- ③かまカバーを閉じます。

■上糸のかけ方

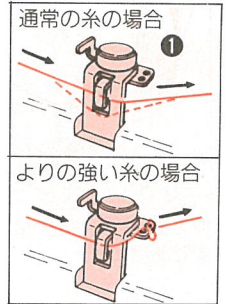


最初に押え上げレバーをあげます。



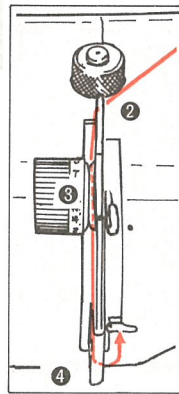
押えをあげると糸調子皿が開きます。

2 糸案内にかけます

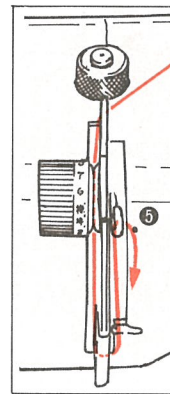


糸案内の裏側に下からかけます。

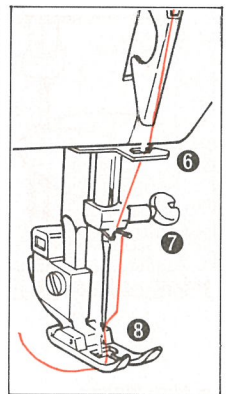
3 糸調子皿へ入れます



4 天びんにかけて

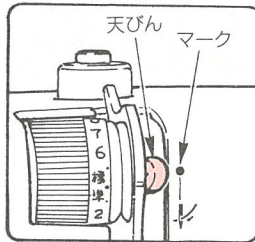


5

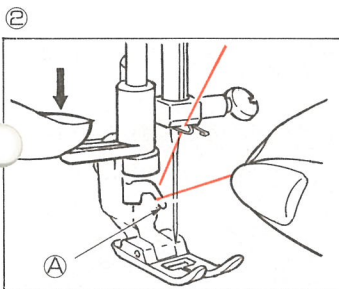


糸通し器の使い方

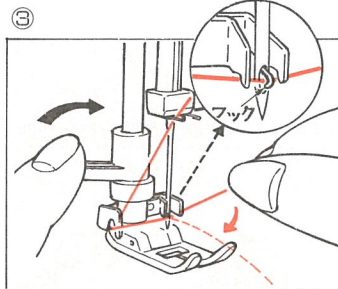
①はずみ車を手前に回し天びんとマークを合わせて、針を一番上にします。



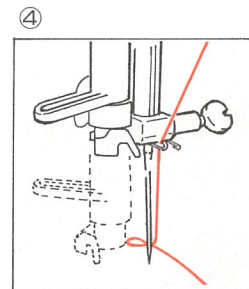
糸通し器を使うと便利です。



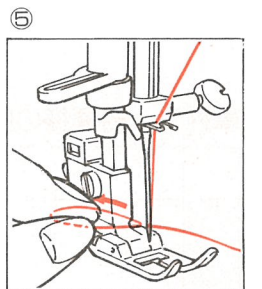
糸通しレバーを下げたAに糸をかけます。



糸通しレバーをいっぱいまで下げてから矢印の方向に止まるまで回転させ糸をフックの下へ持っていきます。



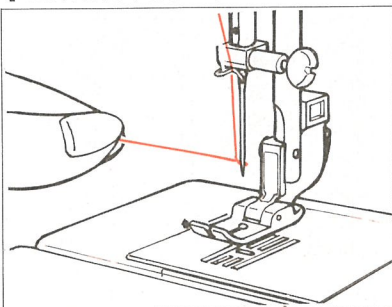
糸通しレバーを戻すと、糸は針穴に通ります。



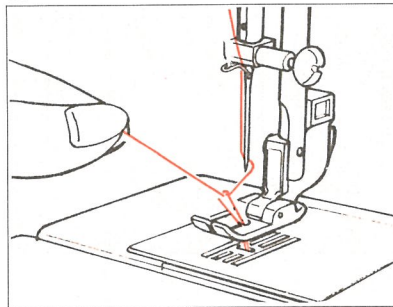
通した糸を針穴から10センチぐらい引き出します。

下糸の引きあげ方

1 上糸を軽くもちます

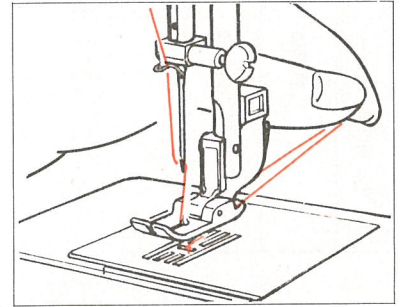


2 はずみ車を手前に回します



針が上下して 下糸を引き出します。

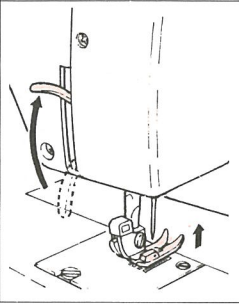
3 上・下糸を10センチ出します



上・下糸を押えの下にして後ろへそろえて出します。

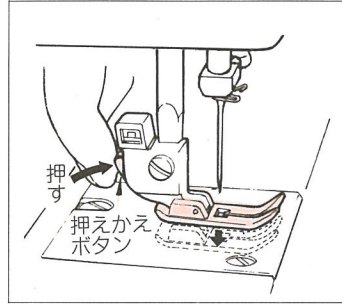
■押えのとりかえ方

1 押えを上げます



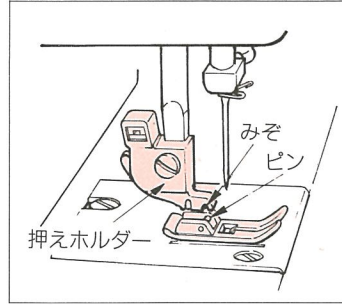
押え上げレバーを一番上まであげます。

2 押えをはずします

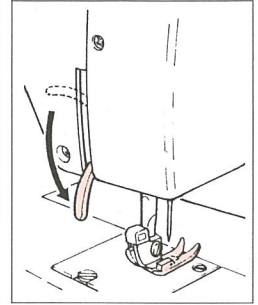


押えかえボタンを矢印の方向に押しします。

3 押えのピンと押えホルダーのみぞを合わせます



4 押えを下げます

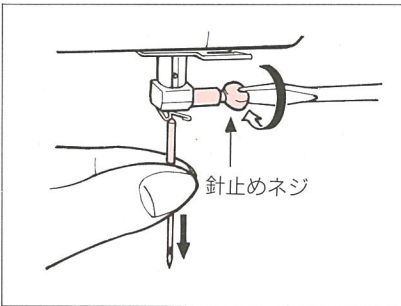


押え上げレバーを下げると押えはセットされます。

■針について

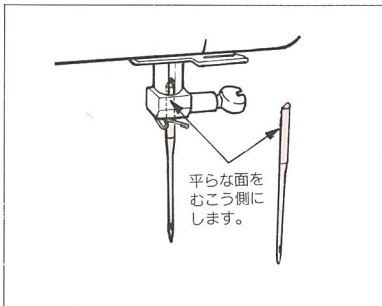
※針の交換のときは、必ず室内コンセントからコントローラーのプラグをぬいて電源を切ってください。

1 針のはずし方

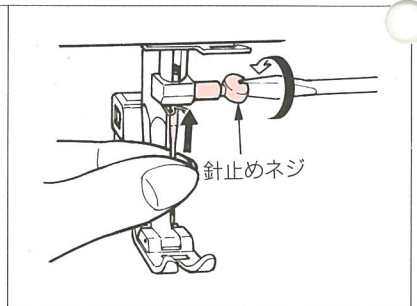


針を最上部にあげ針止めネジをゆるめます。

2 針のとりつけ方



針の平らな面をおこう側にして上方へ当たるまで差しこみます。



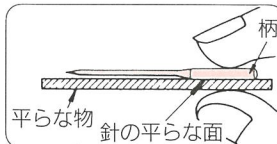
ドライバーで針止めネジをかたくしめます。

●針の選び方

針をお買求めの際は家庭用ミシン針のHA×1またはHA×1KN(ニット針)を指定します。

太さの番号表示
数字が大きくなると針が太くなります。

●針の調べ方



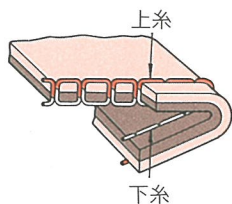
すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。針先が曲ったり、つぶれているものは使わないようにします。

■押えと各模様の関係 (押えのとりつけをまちがえますと針がぶつかり折れたり曲ったりしますのでご注意ください)

押え	基本押え					ファスナー押え	裁ち目かがり押え	ブラインドステッチ押え	ボタン穴かがり押え
模様	┆┆┆┆					┆┆┆┆		9 10 11	
主な用途	直線ぬい	伸縮強化ぬい	ジグザグぬい	裁ち目かがり	パッチワーク	ファスナーつけ	裁ち目かがり (オーバーロック)	ブラインドステッチ (まつりぬい)	ボタン穴かがり

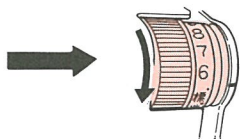
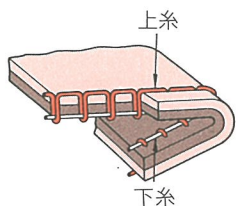
糸調子の合わせ方

○ 正しい糸調子



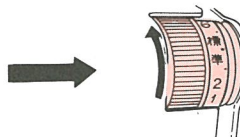
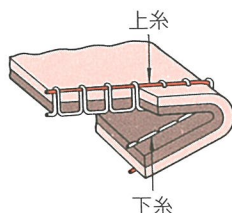
上糸と下糸のからみが布の中心にくるのが正しい糸調子です。

✕ 上糸の調子が弱いとき



目盛の数字を大きくします。

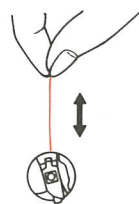
✕ 上糸の調子が強いとき



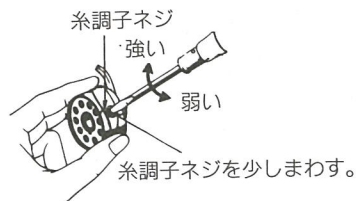
目盛の数字を小さくします。

● 上糸調子だけで調整できない場合 下糸の調整をします

- ボビンケースに糸を巻いたボビンを入れて糸の端を持ち軽くふり少しずつボビンケースが落ちるのを目安とします。



- ボビンケースの糸調子ネジを右へ回すと下糸調子は強くなり左へ回すと弱くなります。

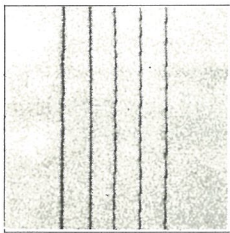


■ 布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

	布地	ミシン糸	ミシン針	押えの強さ	ぬい目の長さ		糸調子の目安	
					直線ぬい	ジグザグぬい		
ぬい 	ローン	絹ミシン糸 80~100番	(9番)	押え圧調節器	0 1 2 3 4		糸調子ダイヤル	
	ジョーゼット	化繊・細ミシン糸 90・100番	11番		1~4	1~3		
	トリコット	化繊ミシン糸 60~100番	ニット針 11番		少し押し込む			
	ウール・化セン布	絹ミシン糸 80番 化繊ミシン糸 60~100番	11番					
普通地ぬい 	普通木綿・化セン布	綿糸 50~80番 化繊ミシン糸 50~60番	11~14番		0.5~4	1.5~3	標準	
	薄手ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11番					中ほどまで押し込む
	一般ウール・化セン服地		11~14番					
厚地ぬい 	デニム	綿糸 30~50番 化繊ミシン糸 30~50番	14~16番		0.5~4	2~4	標準よりやや強く	
	ジャージー	絹ミシン糸 50番 化繊ミシン糸 50~60番	ニット針 11~14番					
	コート地	絹ミシン糸 50番	11~14番					いっぱい押し込む

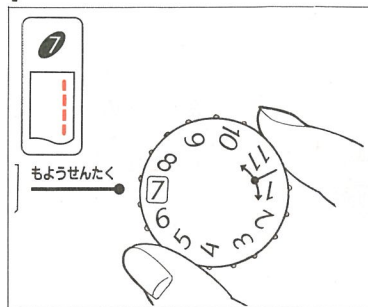
※ニット針(HA×1KN)は目とびを防ぎ伸縮性の布地に適します。

■直線ぬい



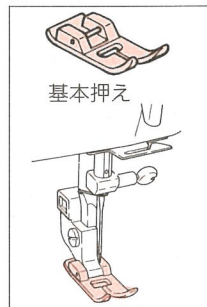
直線ぬいは、ぬいの基本です。布地に適した針と糸を選びましょう。

1 直線模様を選びます

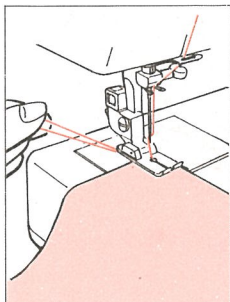


模様ダイヤルを回して指標に合わせます。

2 基本押えをとりつけます

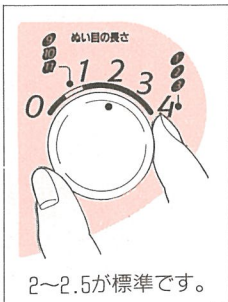


3 布地を入れ押えをさげます

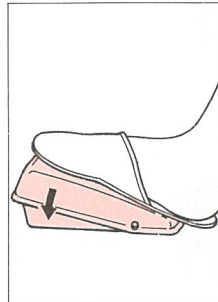


布地を押えの下におきぬい始める位置に針を落とします。上下糸をそろえて押えをさげます。

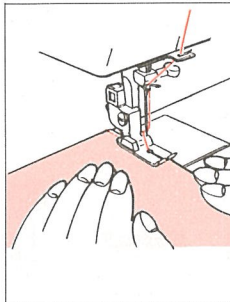
4 ぬい目の長さを決めます



5 スタートさせます

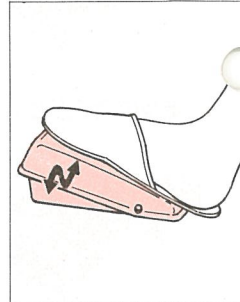


6 布地に軽く手をそえます

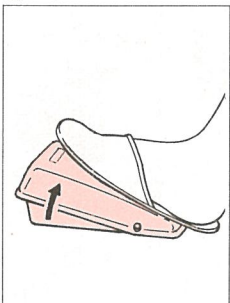


ぬっている間は布地をむりに引っぱらないようにします。

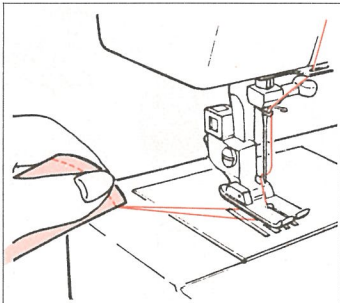
7 ぬい速度を調節します



8 ストップさせます

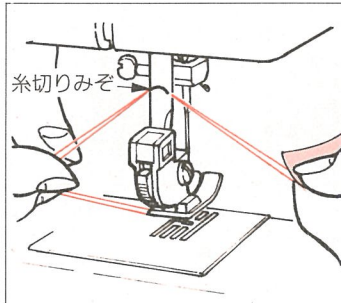


9 押えをあげて布地をとり出します



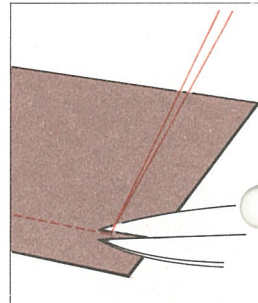
針が完全に止まってから、押え上げレバーをあげます。

10 糸を切ります



上・下糸をそろえて10センチくらい引き出し押えの裏側の糸切りみぞで糸を切ります。

11 布地の裏で糸を結びます



布地の裏側で上糸を引き出し上糸と下糸を結び、結び目のきわで糸を切ります。

■返しぬい (ほつれ止め)

返しぬいレバーを押しながら

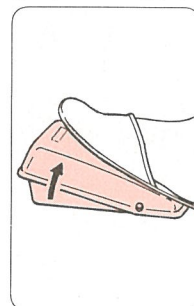
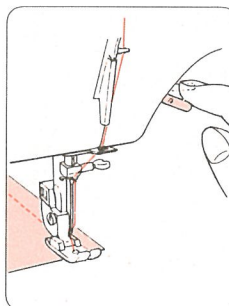
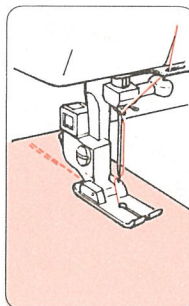
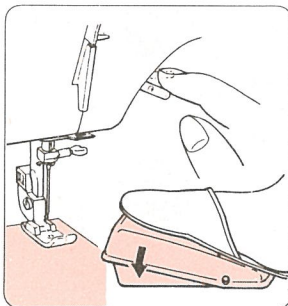
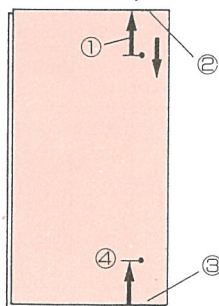
①スタートさせます

指をはなすと

②直線ぬいをします

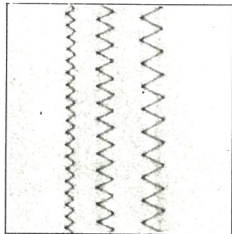
③返しぬいをします

④ストップさせます

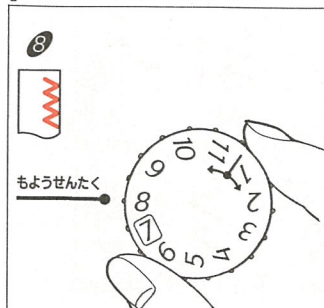


返しぬいレバーから指をはなすと直線ぬいになります

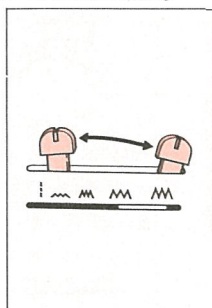
■ジグザグぬい



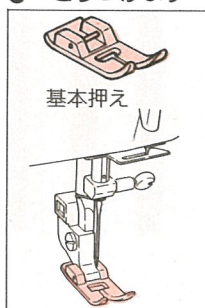
1 ジグザグ模様を選びます



2 ぬい目の幅を決めます



3 基本押えをとりつけます

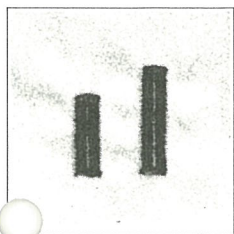


ぬい目の幅レバーをお好みの位置に合わせます。

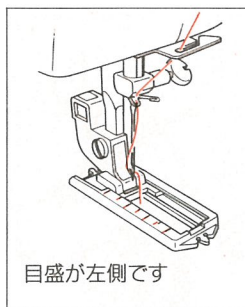
●ジグザグぬいの幅とぬい目の長さの関係

ぬい目の幅	ゼロ (0)	(小)	(中)	(大)	(最大)
ぬい目の長さ	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4	0.5 ~ 4

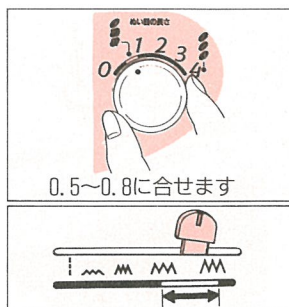
■ボタン穴かがり



1 ボタン穴かがり押えをとりつけます



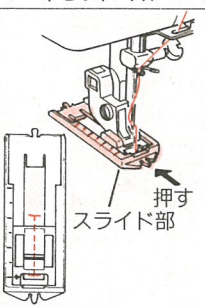
2 ぬい目の長さとぬい目の幅を合わせます



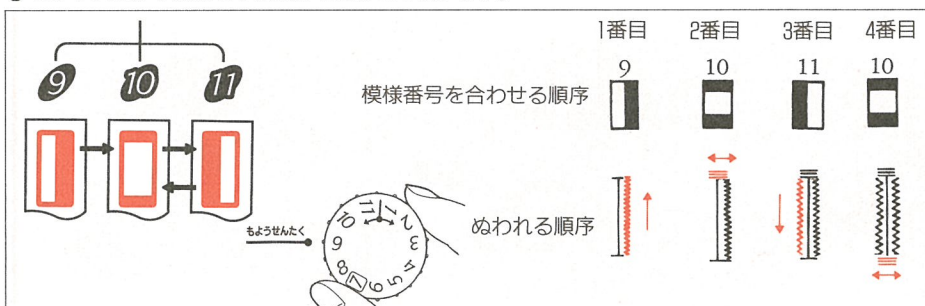
3 ボタン径を測り布地に印をつけます



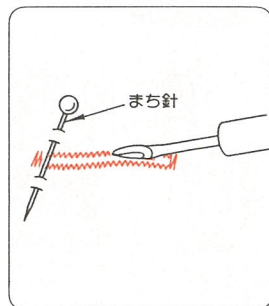
4 スライド部を押して布地の印に合わせます



5 ボタン穴かがり模様を下記順序で合わせてぬいます。

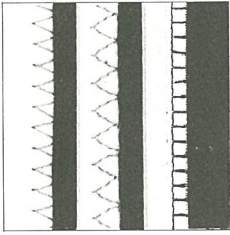


ぬい終わったら
リッパーで穴をあけます



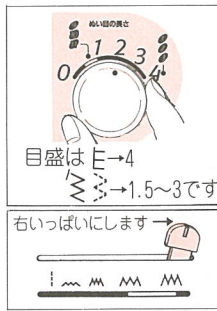
切りすぎないように まち針を使うと失敗しません。

■裁ち目かがり

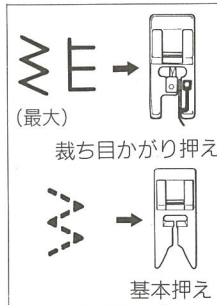


模様ダイヤルにて模様を選択する時は必ず押え上ゲレバーにて押えを上げてから選択して下さい。

ぬい目の長さとおい目の幅を合わせます

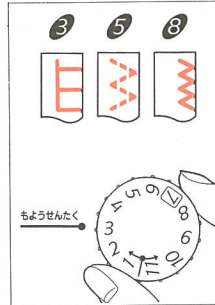


2 押えをかえます



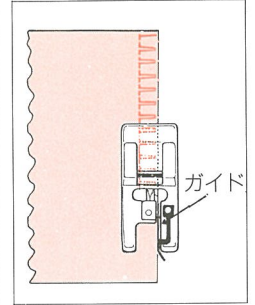
※三点ジグザグぬいはい必ず基本押えをお使いください。

3 模様を選びます



3種類のうち お好みの模様を選びます。

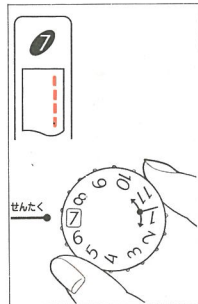
4 裁ち目かがり押えを使う場合



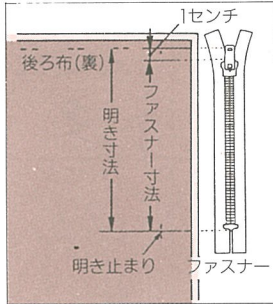
布端をガイドにあててぬいします。

■ファスナーつけ

1 直線模様を選びます

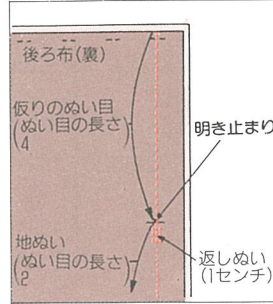


2 ファスナー明きの寸法をたしかめます



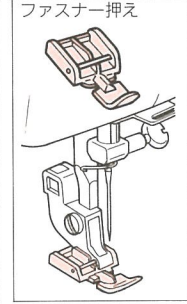
明き寸法はファスナー寸法に1センチ プラスした寸法です。

3 直線押えを使い 仮りのぬいと地ぬいをします

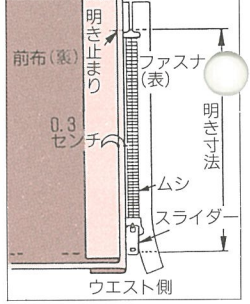


布地を中表に合わせ布端より明き止まりまでぬい目の長さ「4」でぬい、明き止まりからぬい目「2」で1センチ返しぬいをし、所定の位置までぬいます。

4 ファスナー押えをセットします

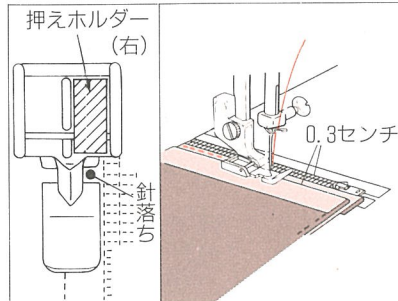


5 ぬい代を割ります



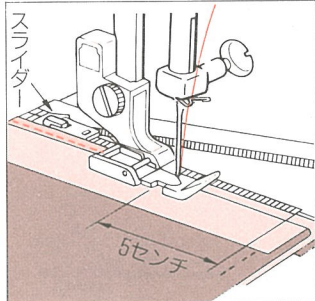
後ろ布のぬい代を0.3センチ出してアイロンで折り目をつけ、折り山をムシのきわにあてます。

6 ファスナーの左側を明き止まりからぬいます



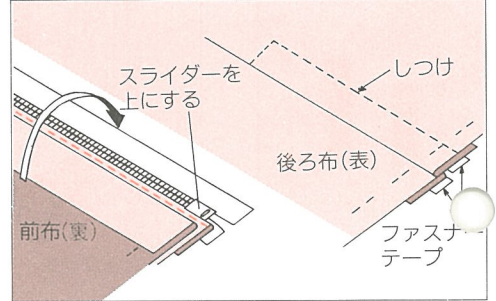
ファスナー押えの右側にセットします。押えの端をムシのきわにあて後ろ脇にファスナーの片方をつけ明き止まりからぬいます。

7 スライダをさげます



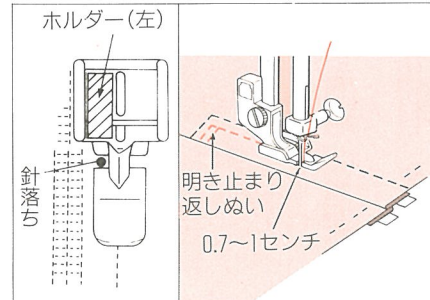
ファスナーの端から5センチ位手前でミシンを止め、押えをあげてスライダを押えの向こう側にさげ、押えをおろして端までぬい止めます。

8 前布をかえします



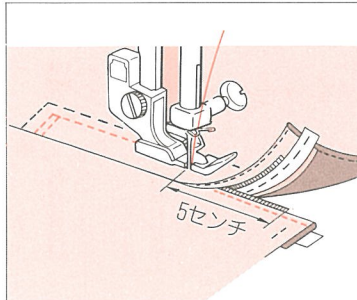
後ろ脇がぬい終わったら、スライダを引き上げて、つまみの金具を上へ倒し、前布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布とファスナーテープをしつけて止めます。

9 ファスナーの右側をぬいます



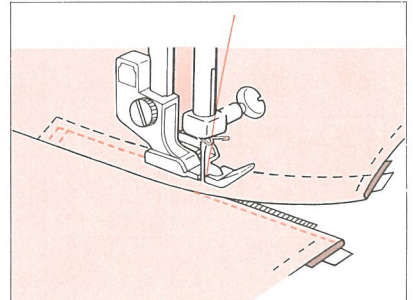
ファスナー押えの左側にセットします。前脇の明き止まりを返しぬいで押えの端をスライダのきわにあて0.7~1センチのミシンをかけます。

10 仮りのぬい目をほどこきます



ファスナーの上側を5センチぐらい残したところで図3でぬった仮りのぬい目をほどこきます。

11 スライダをさげてぬいます



スライダをさげて、残りの部分をぬいます。

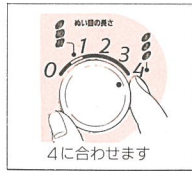
■伸縮強化ぬい (ストレッチステッチ)

伸縮性のある布地や、力がかかってほつれやすい部分などに使うとぬい目がしっかりします。

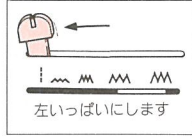
模様ダイヤルにて模様を選択する時は必ず押え上ゲレバーにて押えを上げてから選択して下さい。

ぬい目の長さとぬい目

1 の幅を合わせます

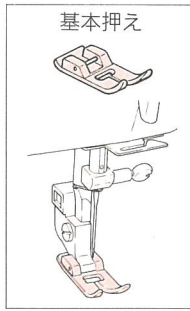


4に合わせます



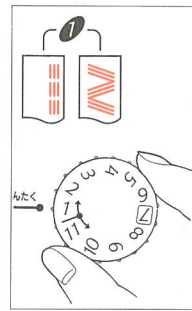
左いっばいにします

2 押えをかえます



基本押えをセットします。

3 模様を選びます



■使用例

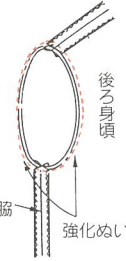
●袖つけ

後ろ袖や、袖下に力がかかりほつれやすいところに使います。

●よく使用するポケットつけ



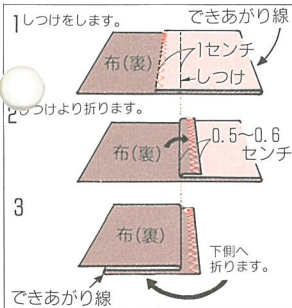
●袋ものにとってつけ



■まつりぬい (ブラインドステッチ)

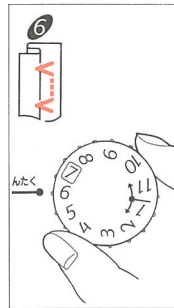
裁ち目かがりをして

1 布地を折ります



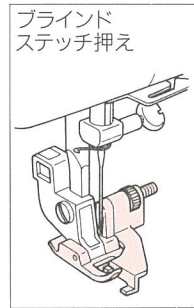
裁ち目かがりは前ページ参照。

2 模様を選びます

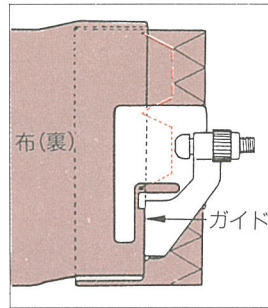


※ぬい目の長さは2~4にします。
※ぬい目の幅は中から最大にします。

3 押えをかえます

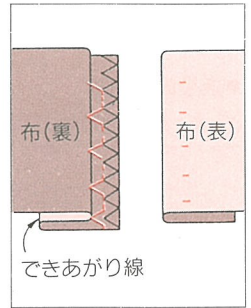


4 押えのガイドにあててぬいます



押えのガイドを折り山にピッタリアててぬいます。

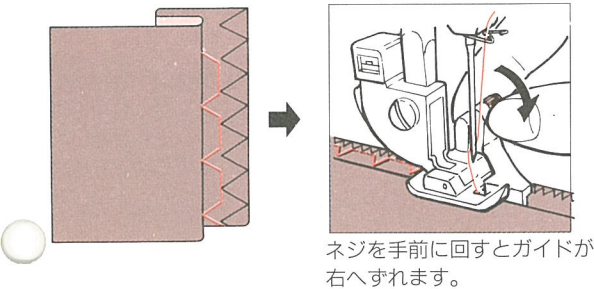
5 布地をかえます



ぬい終わりましたら 布地を折りかえます。

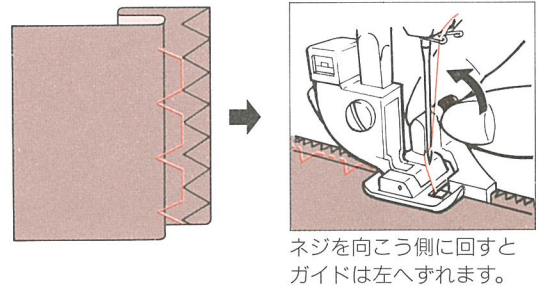
●ブラインドステッチ押えのガイド調節方法

●折り山にぬい目がかからない場合



ネジを手前に回すとガイドが右へずれます。

●折り山にぬい目がかかりすぎた場合



ネジを向こう側に回すとガイドは左へずれます。

■突き合わせぬい (パッチワーク)

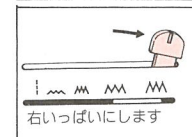
種類のちがった布や残り布などをはぎ合わせて小物類や室内装飾に应用します。

ぬい目の長さとぬい目

1 の幅を合わせます

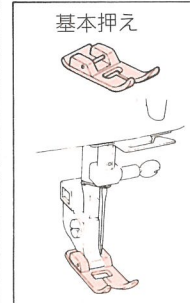


4に合わせます



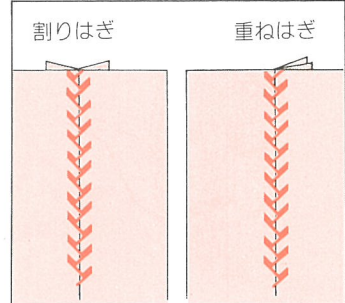
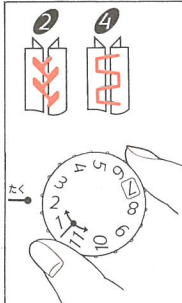
右いっばいにします

2 押えをかえます



基本押えをセットします。

3 模様を選びます



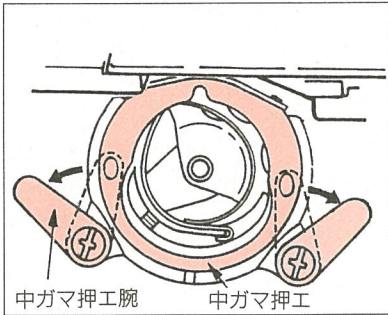
2枚の布地を地ぬいした後、両方の布地に模様があたがるようにぬいます。

■ミシンの手入れ(掃除と注油)

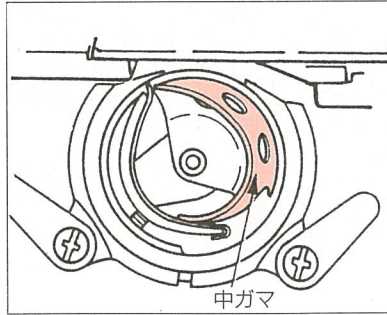
※必ず室内コンセントからプラグをぬき電源を切ってください。

●カマの掃除(分解と組み立て)

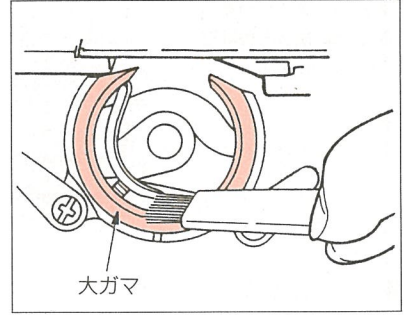
カマの中に糸くずやほこりが入ったときは分解して掃除します。



- ①針棒を一番上まであげ、かまカバーを開けてボビンケースを取り出します。
- ②中ガマ押え腕を開き、中ガマ押えをはずします。



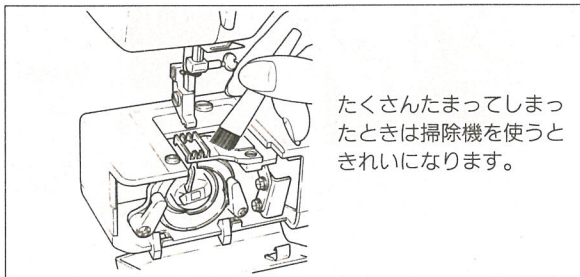
- ③中ガマをとり出します。



- ④大ガマの内部をブラシできれいにし、ミシン油を1~2滴さしてください。
※組立てるときは、分解した逆の順序で行います。
※中ガマ押え腕はパチンとはまるまで閉じてください。

●送り歯の掃除

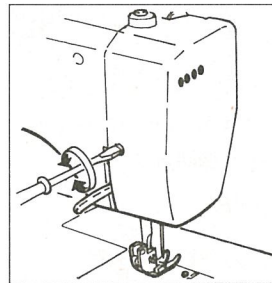
送り歯と針板の間は針や押え、針板をはずしてブラシを使います。



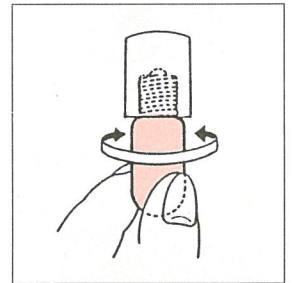
たくさんたまってしまったときは掃除機を使うときれいになります。

■ランプの交換

※必ず室内コンセントからプラグをぬき、電源を切ってください。



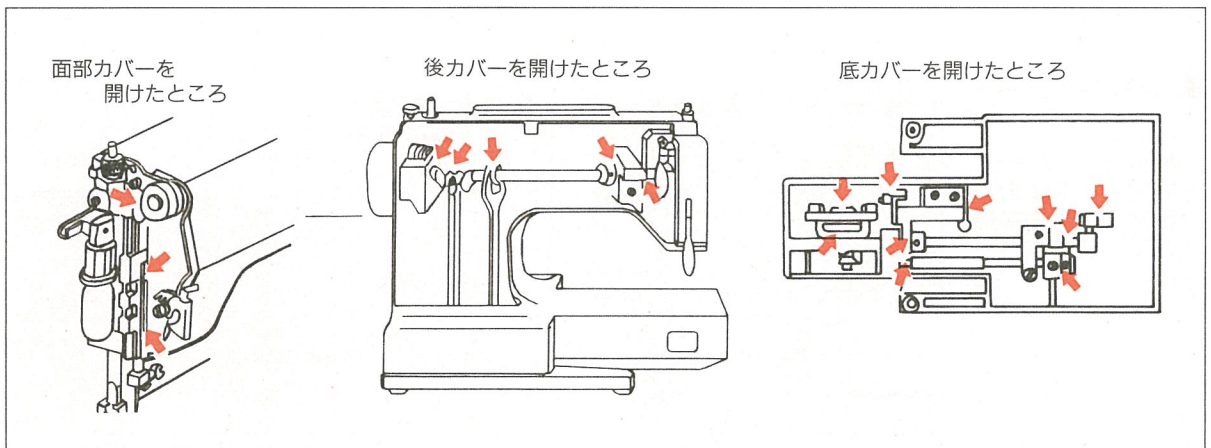
面部カバーをはずします




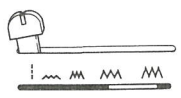



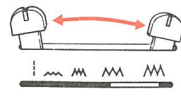
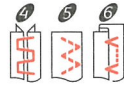
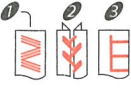


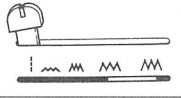
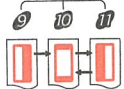
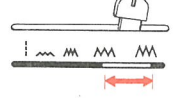

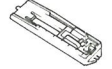
- ランプの消費電力は15Wです
- ランプのお買い求めの際は、このミシンをお買上いただきました販売店でお求めください。

●ミシン頭部の注油

- ・ミシンの上手な使い方は、つねに注油と掃除をすることです。
- ・ミシン油を定期的に矢印のところへ1~2滴さしてください。



■ぬい方(模様選択)と操作方法一覧

	ぬい方	操作	模様	ぬい目の幅レバー	ぬい目の長さダイヤル	押え
1	直線ぬい					 基本押え
2	ジグザグぬい					
3	フルオートジグザグ					
4	スーパージグザグ					
5	直線伸縮ぬい					
6	ボタン穴かがり					 ボタン穴かがり押え

■サービスをお申しつける前に

下記のような場合は故障ではありません。サービスをお申しつける前にもう一度お確かめください。

現象	原因(理由)	処置方法	ページ
布が送らない	<ul style="list-style-type: none"> ●ドロップフィードが(33)になっているとき ●ミシンが空転しているとき ●送り(ぬい目の長さ)が「0」になっているとき ●押えの圧力が弱いとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●通常ぬいの(MM)にします ●ストップモーション(ネジ)をしめます。 ●長さを「1~4」に合わせます ●押えの圧力を強くします 	4
			5
			8
			8
針が折れる	<ul style="list-style-type: none"> ●針のとりつけ方が間違っているとき ●針が曲っているとき ●押えと選んだ模様合わないとき ●針・糸・布地の関係が悪いとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しくとりつけます ●新しい針にとりかえます ●模様に合った押えを使います ●布地に合った針・糸を使います 	7
			7
			7
			8
上糸が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●糸のかけ方が間違っているとき ●糸が必要以外の所へからんでいるとき ●上糸の調子が強すぎるとき ●針が曲っているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●正しくかけ直します ●糸立棒、糸案内などからまわっていないか調べます。 ●上糸調子を正しく直します。 ●新しい針にとりかえます。 	6
			—
			8
			7
下糸が切れる ぬい目とぶ	<ul style="list-style-type: none"> ●下糸の調子が強すぎるとき ●針のつけ方が間違っているとき ●針が曲っているとき ●糸のかけ方が間違っているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●下糸調子を正しく直します ●正しくとりつけます ●新しい針にとりかえます ●正しくかけ直します 	8
			7
			7
			6
回転が重く、音が高い	<ul style="list-style-type: none"> ●油がきれいなとき ●かまに糸くすがたまっているとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●動く部分に注油します ●かまを掃除します。 	13
			13
ぬいじわが出る	<ul style="list-style-type: none"> ●糸調子が強すぎるとき ●布地と針と糸が合っていないとき ●押えの圧力が強すぎるとき 	<ul style="list-style-type: none"> ●上、下糸とも糸調子を合わせます ●正しく合わせます ●圧力を弱くします 	8
			8
			8

■アフターサービスと保証

- このミシンには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただしメイン基板については2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書には詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。当社は、このミシンの補修用性能部品を、お買い求めの日から最低8年間保有しています。

JUKI

〒182 東京都調布市国領町8-2-1
☎03-3480-7112

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、下記営業所へお問い合わせください。

北海道特販営業所	〒060	札幌市中央区南五条東3-14-5	☎011(512)6895
東北特販営業所	〒980	仙台市青葉区錦町1-1-2	☎022(261)7081
東京特販営業所	〒136	東京都江東区亀戸1-32-8	☎03(5626)2371
大阪特販営業所	〒530	大阪市北区曽根崎新地2-6-21	☎06(348)1351
広島特販営業所	〒730	広島市中区富士見町4-22	☎082(246)7711
九州特販営業所	〒812	福岡市博多区博多駅東1-9-5	☎092(474)4947

購入店名 後日のため記入しておいてください。
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話 ()
購入年月日: 年 月 日